

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2.52km	-	0.62km	バイオマスリサイクルセンターへ通じる市道の完成により輸送の合理化が図れているが、一部市道の整備が遅れており目標に達していない。今後他事業により整備が完成する見込みである。
	広域農道整備事業（整備延長）	4.66km	-	4.66km	整備が完了しバイオマスリサイクルセンターへの輸送の合理化が図られるとともに、本地域で生産される農産物流通条件が整備された。また、集落間の移動時間短縮により生活環境の改善が図られた。
その他の事業	地域活力基盤創造交付金事業	広域農道が接続する国道432号0.7kmと、県道布部安来線1.2kmの整備を平成25年度までに実施			道路整備は計画通り完了した。
	経営体育成基盤整備事業	安来市北部の能義平野で266haのほ場整備を実施して、農作業の効率化を図る			平成32年度完成に向けて事業をすすめているところである。また、新たに192haのほ場整備をすすめている。
	経営体育成交付金	新規就農者の経営の早期安定及び集落営農の法人化をすすめるため農業用機械や施設等に助成を行う			農業用機械や施設整備に係る経費を助成し、新規就農者の農業経営の安定化と集落営農の法人化の推進を図っている
	農林水産振興がんばる地域応援総合事業	認定農業者へ農業機械や施設購入に係る費用の一部を助成し、農業経営の安定を図る			農業用機械や施設整備に係る経費を助成し、農業経営の安定化を図っている
	安来市新規就農研修事業	新規就農に必要な農業技術や農業経営の実践的な体験研修を行うと共に、研修中の研修生の負担軽減を目的に補助金を支給			研修制度を円滑に運用し、Uターン者や農家子弟による担い手育成・確保を行っている
	バイオマスリサイクル利活用会議	家畜糞尿及び堆肥の利活用の推進を図るため、JAしまねやすぎ地区本部、畜産農家、営農組織の連携を強化する会議を運営する			毎月行われる安来市農林振興協議会畜産部会において協議している
	宇賀荘地区ふれあい祭り	地元自治会や有志により、毎年春と秋に開催している消費者との交流活動を引き続き実施する			毎年開催され、消費者との交流が図られている
計画外で独自に実施した事業					
④評価方法	「島根県安来市地域再生計画事後評価委員会」を開催し、最終目標の達成状況を評価した。				
⑤事後評価の公表方法	県のホームページに掲載し公表する				
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と広域農道整備一体的に実施した。広域農道整備については平成27年度に全線開通した。市道整備については、バイオマス施設へ通じる路線は完成したが、黒鳥細井線、中島津田平線が未完成となっている。未完成の2路線については、現在、社会資本整備総合交付金事業により整備中であり、平成33年度の完成を予定している。拠点間の道路整備により運搬時間の短縮、移動時間の短縮が図られており、一定の効果が発現している。また、堆肥化の推進、環境保全型農業の推進や地域間交流の拡大に寄与していくものと考えている。				
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、市道2路線の整備が遅れているが、社会資本整備総合交付金事業により平成33年度完成を予定している。家畜糞尿の堆肥化推進、環境保全型農業の推進については目標数値に達していないが、広域農道とバイオマス施設へ通じる市道は完成しており、また、大規模なほ場整備を実施しており、今後JAや畜産農家、営農組織の連携を強化していきたい。				